

編集後記

2020年度も大きなトラブルなく年度を終えることができました。利用者並びに関係各位のご尽力に心から感謝申し上げます。特に、国の財政圧縮の中でメンテナンス費用等を維持に関わる大学とご支援いただいている企業関係者の方々、装置講習や依頼分析に関わる技術支援センター関係者の皆様には厚く御礼申し上げます。また、学内利用者および学外利用者の皆様には分析機器を丁寧に扱って頂き、不要なトラブルや修理が少なく、非常に助かっております。利用者の皆様の教育及び研究の進展のため、今後も既存機器の更新と総合メンテナンスを計画的に実行し、サポートしていく所存です。

2020年は、新型コロナウイルスの蔓延により、皆様も様々な面でご苦労されたと思います。当センターでも共用機器の運用にあたり、感染要因にならぬように様々な工夫に四苦八苦致しました。本誌の写真にもマスクだけでなくフェイスシールドも利用して講習するスタッフが写っております。利用者の皆様にもご協力いただき、大変感謝しております。感染抑制のために装置の自動化やリモート化も進めておりますが、特に学生を対象とした”実験原理の理解”や”装置の異常及び誤操作を感知する実験感覚の習得”という「教育的側面」と自動化やリモート化による「感染抑制」の両立にジレンマを感じています。一方で、「研究的側面」では世界的に自動化やリモート化により研究スピードは確実に速くなっています。最先端の研究に取り残されないように、我々も実験環境の整備に努めていく所存です。

末筆となり大変恐縮ですが、本号でも多くの方々に素晴らしいご寄稿をいただきました。業務多忙の中、執筆依頼に快く応じていただき、深くお礼申し上げます。また、本機関誌発刊に当たり、レイアウト・編集作業、さらに印刷業者との連絡などを、新美智久技師および藤本真由技術補佐員に引き受けていただきました。深く感謝いたします。

(文責 機関誌編集委員長)

CACS FORUM

埼玉大学研究機構 科学分析支援センター機関誌

No. 12 2021. 12

発行者 埼玉大学研究機構 科学分析支援センター
さいたま市桜区下大久保 255
URL <http://www.mlsrc.saitama-u.ac.jp/>
TEL 048(858)3670 (ダイヤルイン)
FAX 048(858)3707